

令和2年度

倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価

〈評価基準〉

- A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった
- B・・・当初の目的・目標を達成した
- C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった
- D・・・当初の目的・目標を大きく下回った

令和2年度 倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施状況

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
倉吉市教育の創造	第2期倉吉市教育振興基本計画の進捗管理(5年計画の5年目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画に基づく重点施策実施計画の策定</li> <li>教育に関する事務の点検・評価の推進</li> </ul>	教育総務	基本計画に基づく重点施策実施計画の策定及び定例教育委員会へ実施計画提案 第3期教育振興基本計画素案作成		「倉吉市教育行政の点検及び評価」を市議会へ提出			進捗状況チェック、中間評価
	倉吉市教育委員会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>倉吉市教育の方針の明示</li> <li>住民の意向や教育現場の実情の把握</li> <li>総合教育会議の充実</li> <li>教育委員の活動の顕在化</li> </ul>	教育総務	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画訪問・諸行事等への参加</li> <li>市ホームページによる情報発信(レコジム等)</li> </ul> (随時)教育長メッセージ					
	「倉吉市立小・中学校の適正配置等について」に基づく学校再編の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正配置の課題の整理と各地域・関係団体との協議の実施</li> </ul>	学校教育	対象小学校区適正配置についての説明会		対象小学校区適正配置についての説明 ・協議会の開催(年間)	市民説明会	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域の方針の調整</li> <li>意見集約</li> </ul>	小学校適正化に向けた準備(小規模転入制度等)
	学校教育施設・教育施設の整備運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校屋内運動場トイレ改修工事</li> <li>小中学校特別教室エアコン整備工事</li> <li>学校施設長寿命化計画策定</li> <li>小中学校情報通信ネットワーク環境整備</li> <li>小中学校情報機器整備</li> <li>広瀬分校解体工事</li> <li>学校施設整備</li> </ul>	教育総務	[小中学校屋内運動場トイレ改修工事、設計監理] [小中学校特別教室エアコン設置工事、設計監理] [長寿命化計画策定] [校内通信ネットワーク整備(無線LANアクセスポイント、LANケーブル、充電保管庫整備等)] [児童生徒端末整備 国庫補助対象分(児童生徒数2/3人分) 購入 小学校1,633台、中学校812台] [教員用端末購入] [広瀬分校解体工事] [施設修繕全般]					
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	学力向上の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上推進の支援(小・中連携教育の推進、合同研修会)</li> </ul>	学校教育	中学校区教育の計画作成					

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
定例教育委員会へ中間評価の報告					・実施状況チェック、各課の自己評価 ・審議会等による評価の実施	・第3期基本計画策定会議を6回開催し、第2期基本計画に基づく事業の振返りと第3期基本計画策定に向けて協議を行い骨子案を作成。3月教育委員会に提出し策定できた。	B		
第3期教育振興基本計画パブリックコメント募集・回答		回答に基づく素案の修正	基本計画最終調整		第3期教育振興基本計画策定・教育委員会及び常任委員会へ報告				
						学校計画訪問、諸行事へ積極的に参加した。また、計6回のリレーコラムや教育委員会定例会、市長との意見交換の場である教育総会議を2回開催し、その会議録等をホームページに掲載し、情報発信に努めた。	B		
	教育委員リレーコラム(第3回)	・総合教育会議の開催	教育長メッセージ		教育委員リレーコラム(第4回)				
						・各地区の意向を取りまとめ、協議会で調整を図った。 ・灘手小学校、PTA会長名で成徳小学校との統合の要望があった。 ・適正配置対象校の中には、保護者アンケートを実施する学校も出てきた。	B	B	○小学校適正配置協議会を立ち上げ、協議を進めた。 小学校適正配置対象3地区の調整が図られた。 *成果指標 A: 検討・準備委員会 B: 調整が図られつつある C: 調整が難しい状況
・灘手小学校保護者説明会(10/1) ・高城小学校保護者説明会(10/8) ・対象校区小中学校PTA役員会へ特認校について説明	・明倫地区協議会委員との協議(11/12) ・北谷小学校保護者説明会(11/19) ・灘手地区地域代表と保護者代表との協議(11/20)	・小学校適正配置協議会(12/18)	・明倫小学校進学先(東中)について該当校PTA役員会で説明(～2月末)	・小学校適正配置協議会(2/5)	・小学校適正配置協議会(3/26) ・灘手地区説明会(3/12)		B		○教育施設の整備については、概ね計画どおりに進めることができた。
整備等) (学校812台)						・改修等工事については、概ね予定どおり執行し、良好な教育環境とすることが出来た。 ・本市GIGAスクール構想に係るネットワーク整備や情報機器整備については、コロナ禍において機器の納入が遅れ、当初9月としていた完了が2月となったが、概ね計画通り完了し、ICT教育の充実を図ることができた。 ・教育施設長寿命化計画を策定し、今後の改修等計画を可視化することが出来た。	B		
				特色ある中学校区教育の成果と課題の把握と改善策の提案 河北中学校区合同研修会「だれもが行きたくなる学校づくりとは」 広島大学大学院 栗原慎二 教授		・新型コロナウイルス対応のため、実施できな校区があった。	-	B	・中学校対象の標準学力調査(CRT)では、中学1年生社会、数学、理科で全国平均を2ポイント上回った。中学2年生は、国語が1ポイント下回り、数学、理科が2ポイント上回った。

令和2年度 倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施状況

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	2 学力向上の推進	2 ・わかる授業のための授業改善 (教職員の指導力の向上)	学校教育	研究主任訪問 (各学校を2回訪問)			学校計画訪問での指導助言 (3回)		
			学校教育	中学校NRT (標準学力検査)実施	・要請訪問	・要請訪問 (6/24北谷小)	・要請訪問 (7/2河北小)		・要請訪問 (9/30上小鴨小)
		3 ・細やかな指導を行うための体制づくり (少人数学級・教員加配)	学校教育	加配教員配置 加配教員研修				加配概要聴き取り	
		4 ・小学校外国語教科化の対応 (小学校・中学校)	学校教育	小学校外国語教科化 外国語活動支援員授業計画作成 継続ALT勤務開始 小学校英語専科教員計画作成・実施・助言 (年間) 小・中・高を通じた英語教育強化事業	中学校区別外国語指導助手 (ALT) 授業計画作成 授業力向上のための研究授業等での指導助言 (年間)		ALT任用終了・帰国		
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	3 豊かな心とたくましい体の育成	1 ・人権教育の充実 (育てたい資質・能力を明確にした実践)	学校教育	4/14第1回人権教育主任者会 (倉吉市・鳥取県の取り組みについて) R2 人権教育指定校 (河北小学校)				8/7第2回人権主任者会 (身近な人権問題に学ぶ)	
			2 ・道徳教育・体験活動の充実 (乳幼児ふれあい事業)	学校教育					

取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月			
学校計画訪問での指導助言(2回) 研究主任研修会	学校計画訪問での指導助言(4回) 学校評価による点検	成果と課題の共有と改善策についての検討(研究主任者会等)	授業づくりに対する指導助言 小学校NRT実施	授業づくりに対する指導助言	学力実態の把握と分析研修計画		B	
・要請訪問(10/16久米中) (10/21北谷小)	・要請訪問(11/5河北小) (11/18明倫小) (11/25杜小)	中学校CRT実施 ・要請訪問(12/2小鴨小)	・要請訪問(1/27東中)			・学校計画訪問に加え、各学校研究主任訪問を2回ずつ実施し、研究推進に係る助言を行った。 ・要請訪問指導助言10回		
		加配概要聴き取り				・前年度の各学校の要望に基づき、適切に加配教員を配置できた。 ・学校計画訪問、人事ヒアリング等を活用し、活用状況を聞き取るなどした。	B	
							B	・本年度は全国学力・学習状況調査質問紙は未実施である。
						・小学校に外国語専科教員を配置し、小鴨小学校、関金小学校、明倫小学校、成徳小学校、西郷小学校の授業を担当した。積極的に授業公開を行いながら、市内小中学校教員への研修機会の提供に努めた。 ・県事業を活用しながら、小・中の連続性を意識した英語教育の充実に努めた。	B	「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えた児童生徒の割合は *成果指標 A:80%以上 B:60%以上80%未満 C:60%未満
	公開授業						B	
小鴨小	小鴨小	小鴨小	明倫小	明倫小				
			1/15公開授業(東中)	2/3公開授業(明倫小)				
	河北中校区同研			2/18第3回人権主任者会(成果と課題を以て来年度に向けて)	少人数加配の成果と課題の検証 改善に向けての検討	・新型コロナウイルス感染症に係る講義を行い、差別の未然防止に努めた。 ・個別の人権課題を扱った学習について共通理解を図った。	B	
						・新型コロナウイルス感染症対策のため乳幼児ふれあい会は中止。	B	・不登校について、S S W r や福祉部局と連携しながら未然防止や早期対応に努めている。保護者への粘り強い働きかけにより、不登校削減に成果をあげた学校にその取組を広めるため研修会を開催した。学級に入りにくくなった児童生徒に遠隔での授業提供も増え、有効性が確認されている。中部子ども支援センターを経て学校復帰した生徒もいる。

令和2年度 倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施状況

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	3 豊かな心とたくましい体の育成	3 ・相談体制の充実、いじめや問題行動の未然防止、(倉吉市いじめ防止基本方針の徹底、不登校対策)	学校教育	・心の教室相談員、子どもと親の相談員配置	各校個別の指導計画、登校サポートシート作成・活用(年間)	不登校児童生徒へのアウトリーチ型支援(年間)				
				・SSWRによる支援活動(年間)	要保護児童対策協議会(随時)	生徒指導についての学校計画訪問(前期)				
				・重点校における定例会の開催(年間)	子ども支援センター児童生徒受け入れ開始					
				・不登校対策(担当との連絡及び助言各月末に)年間						
				・生徒指導支援会議(年間)						
				*異種校経験者の講演・講義						
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	4 倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成	4 ・たくましい体の育成(体育、健康教育、学校保健の充実、安全教育の充実)	学校教育	通学路の危険箇所の抽出	第1回学校保健委員会					中学校中部駅伝
				一昨年度の安全対策についてアンケートの実施	喫煙防止教育(小中学校18校年間を通じて随時)					運動会(5中学校)
				性教育講座(中学校5校年間を通じて随時)						通学路の危険箇所合同点検
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	4 倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成	1 ・倉吉独自の教材づくりの推進(くらよし風土記の活用)	学校教育	小学生副読本「わたしたちの倉吉」活用と見直し						「くらよし風土記」(改訂版)を新入生に配布
				「くらよし風土記～倉吉学入門～」の新入生への配布・活用	くらよし風土記改訂作業 →					
				倉吉検定の実施(随時)						
		2 ・地域の人・もの・ことがらに触れる教育活動の推進	学校教育	地域教材・ゲストティーチャーを活用した学習(年間)	西郷小 町探検(5/22)2年36名	博物館を利用した学習	関金小 下水道公社(7/8)4年20名	灘手小 給食センター(8/27)1年2名	西郷小 米作り(9/3)5年36名	
				西郷小 町探検(4/16)3年44名	西郷小 町探検(6/5)2年35名	まち探検(生活科、社会科)	関金小 鳥飼牛舎(7/3・10・17)4年20名	上北条小 天神川(8/28)4年28名	西郷小 リサイクルセンター、下水道公社(9/11)4年42名	
				灘手小 遠足(4/30)全校36名	西郷小 写生(6/15)6年48名	西郷小 鳥飼牛舎(7/3・10・17)4年20名			明倫小 明倫ウォーク(9/26)全校137名	
					西郷小 町探検(6/26)2年35名				成徳小 小鴨川(9/2)6年20名	
					西郷小 田植え(6/26)5年36名					
					明倫小 町探検(6/12)2年15名					



令和2年度 倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施状況

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	4	倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成	2	学校教育			明倫小 中央児童館(6/29) 1年22名 上灘小 町探検(6/19) 2年40名 小鴨小 写生(6/1) 6年77名 小鴨小 小鴨川堤防、児童センター(6/2) 6年77名 上小鴨小 天神野台地周辺(6/22) 4年9名 北谷小 白壁土蔵群、博物館、未来中心(6/19) 3年15名 北谷小 下水道公社(6/26) 4年8名 高城小 下水道公社(6/3) 4年12名 灘手小 下水道公社(6/8) 4年6名 関金小 鳥飼牛舎(6/5) 4年20名 関金小 防災センター、西倉吉消防署(6/15) 4年20名 関金小 倉吉警察署(6/25) 4年20名			上小鴨小 宝製菓、西倉吉消防署、倉吉警察署、倉吉未来中心(9/4) 3年14名 上小鴨小 ほうきリサイクルセンター、Kセンター、下水道公社(9/3) 4年9名 上小鴨小 フィギュアミュージアム、パークスクエア(9/23) 2年10名 上小鴨小 衣笠家牛舎(9/24) 2年10名 高城小 市立図書館、未来中心、梨っこ館(9/18) 1・2年30名 社小 ほうきリサイクルセンター、クリーンランドほうき(9/15・16) 4年54名 社小 ほうきリサイクルセンター(9/15・16) 4年49名 灘手小 農業高校(9/9) 1・2年7名 灘手小 スーパーマーケット見学(9/29) 3年8名 関金小 丸合西倉吉店(9/30) 3年27名 関金小 鳥飼牛舎(9/18・25) 4年20名

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
<p>小鴨小 打吹山、20世紀梨記念館(10/30)1年53名</p> <p>上小鴨小 打吹公園(10/5)1年6名</p> <p>上小鴨小 給食センター(10/26)1年6名</p> <p>北谷小 給食センター(10/23)1年9名</p> <p>北谷小 スイートランドたから(10/20)1・2年21名</p> <p>北谷小 フィギュアミュージアム、白壁土蔵群(10/28)6年7名</p> <p>高城小 給食センター(10/8)1年14名</p> <p>高城小 久米製材所(10/6)5年13名</p> <p>社小 スイートランド(10/28・29)3年56名</p> <p>上北条小 打吹公園(10/14)1年25名</p> <p>上北条小 下水道公社、ほうきりサイクルセンター(10/28)4年28名</p> <p>関金小 町探検(10/14)1・2年43名</p> <p>関金小 町探検(10/15)3年27名</p> <p>関金小 打吹公園(10/26)1年28名</p> <p>関金小 鳥飼牛舎(10/29)4年20名</p> <p>西中 農業体験(10/21)2年140名</p> <p>河北中 町探訪(10/14)2年134名</p> <p>鴨川中 職場訪問(10/16)2年30名</p>	<p>明倫小 町探検(11/5)2年15名</p> <p>成徳小 西倉吉消防署(11/10)3年22名</p> <p>成徳小 ユニセフ募金(11/24)6年20名</p> <p>上灘小 給食センター(11/4・9・12・17)1年48名</p> <p>小鴨小 スイートランド関金、関金運動公園(11/5)2年59名</p> <p>高城小 倉吉警察署、倉吉消防署、鳥飼家住宅、宝製菓(11/5)3年11名</p> <p>高城小 ホンモロコ養殖場、高城隆道、大日寺(11/19)1年14名</p> <p>高城小 芋畑(11/11)3・5年23名</p> <p>灘手小 天神川(11/12)5年8名</p> <p>上北条小 旧市街地、倉吉消防署(11/26)3年17名</p> <p>河北中 職場訪問(11/24・25)1年115人</p>						B	B	<p>・中学生向け「くらし風土記」の改訂を行い、新入生に配布した。</p> <p>・各小中学校がそれぞれの教育課程にあわせて、市内にある多くの施設等を見学し、施設の役割や働く人たちの思いを学ぶことができた。</p> <p>・行政評価(児童生徒対象アンケート)「くらしが好き」の設問において、肯定的評価が85.3%であった。</p> <p>・全国学力・学習状況調査の質問紙は本年度未実施。</p> <p>※行政評価(児童生徒対象アンケート)「くらしが好き」の設問 肯定的回答の割合 A：80%以上 B：60%以上80%未満 C：60%未満</p> <p>※全国学力・学習状況調査質問紙「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」 肯定的回答の割合 A：80%以上 B：60%以上80%未満 C：60%未満</p>

令和2年度 倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施状況

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	4 倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成	3 ・土曜授業の実施（ふるさと学習を中心とした地域との共催）	学校教育	ふるさと学習を中心とした地域との連携 （ふるさと学習）		上北条小 (6/22) 「わかくさ農園」田植				明倫小 「明倫ウォーク」
		4 ・倉吉らしさを取り入れた教育活動の実施	学校教育	地域と連携した取組（年間）						共同区域種子散布 北谷小(9/1) 成徳小(9/17) 上灘小(9/23) 上小鴨小(9/24) 高城小(9/28) 西郷小(〃) 西中(9/30) 社小(〃)
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	5 家庭・地域と連携した開かれた学校づくり	1 ・開かれた学校づくりの推進（学校評価の効果的な活用）	学校教育	学校ウェブページの更新 前年度の学校評価結果にもとづく学校経営の重点化					地域学校委員会による関係者評価	
		2 学校地域連携の取り組み推進（地域未来塾）	学校教育						各地区「教育を考える会」計画 社地区「教育を考える会」(9/8) 各地区運動会の運営補助	
		3 ・学校運営に参画する体制づくり（地域学校委員会の充実）	学校教育	各校地域学校委員会 地域学校委員任命 ボランティア募集開始 学校支援ボランティア活動（年間）					各校地域学校委員会（1学期のまとめ）	
6 よりよい倉吉教育を目指して		1 ・特別支援教育の充実（児童生徒を支える学校体制づくり）	学校教育	特別支援教育主任研修会	就学前発達教育相談（5才児対象）	前期1年生訪問 → 前期特別支援学級訪問 →	特別支援教育主任研修会	特別支援教育主任研修会		
		2 家庭教育の充実（研修機会の拡大）	学校教育	S S W r の相談活動						

取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月				
西郷小(10/3) 「ともに生きる」等 成徳小(10/24) 「ふるさと学習」 小鴨小(10/24) 「なかよしハイキング」 東中「倉吉学入門」 西中「倉吉探訪」 (地域調査) 河北中(10/31) 「地域探訪」 (調査活動)	東中(11/3) 文化祭での発表 高城小(11/14) 「ふれあい参観日」	上北条小 「もち米贈呈・配布」 上小鴨小(12/15) 「収穫祭」	河北小(1/16) 「戦争体験を聞こう」	成果と課題の把握	→	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生向け「くらし風土記」の改訂を行い、新入生に配布した。</li> <li>・各小中学校がそれぞれの教育課程にあわせて、市内にある多くの施設等を見学し、施設の役割や働く人たちの思いを学ぶことができた。</li> <li>・行政評価(児童生徒対象アンケート)「くらしが好き」の設問において、肯定的評価が85.3%であった。</li> <li>・全国学力・学習状況調査の質問紙は本年度未実施。</li> </ul>
				中学生関係機関訪問(河北中・国交省)		—		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策のため、「淀屋サミット」「報告会」などの集合形式の活動はできなかった。各学校で菜の花の種子配布や地域と連携した活動を実施した。</li> </ul>
学校ごとの学校公開		保護者・教職員・児童生徒アンケートをもとにした学校自己評価(中間)と関係者評価			→	A		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校費用化については、計画通りに実施した。</li> <li>・学校ホームページを随時更新し、児童生徒の活動のようすやコロナ対策などの情報発信を行った。</li> </ul>
西郷地区「教育を考える会」(10/30)	倉吉地域未来塾開始 各地区文化祭に出演・出品	上灘地区「教育を考える会」(12/10) 灘手地区「教育を考える会」(12/10)		倉吉市地域学校推進協議会	各校地域学校委員会(3学期のまとめ)	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18小中学校すべてがウェブページで児童生徒の活動のようすを公開し、情報発信している。</li> <li>・地域学校委員会や地域コーディネーターの活動状況についても積極的な情報発信をすることが次年度への課題。</li> </ul>
		各校地域学校委員会(2学期のまとめ)				A		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校とも地域学校委員会を3～5回実施し、コロナ禍においても円滑な地域連携を進めた。</li> </ul>
市就学指導委員会	市就学指導委員会	市就学指導委員会			1年間を終えての指導に関するアンケート	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○・本年度も自立活動研修会を行い、特別支援学級の児童生徒理解やその支援方法についてスキルアップを図った。</li> <li>・本年度より市内13小学校の1年生を対象に、年3回のMIM-PM(言語多層指導モデルによるアセスメント)を行い、要支援の児童に対する適切な支援を行うようにした。しかし、校内体制での取組は7校にとどまった。来年度は市からより積極的な指導が必要である</li> </ul>
後期1年生訪問 後期特別支援学級訪問	→	→						
教育講演会の実施					→	B		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策のため、研修会は実施せず。</li> </ul>

令和2年度 倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施状況

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	6	よりよい倉吉教育を目指して	3	教育総務	就学援助の委任状・口座等とりまとめ 修学旅行費支払い		学用品費等支払い 特別支援教育就学奨励費希望取りまとめ	特別支援教育就学奨励費支給決定		学用品費等支払い 特別支援教育就学奨励費支払い
			4	教育総務	制度周知 仮申請受付					
	7	学校給食の充実、食育の推進	1	給食センター	指導計画作成及び指導案提示 全学級訪問指導（教科等での指導）	給食時間を使った食に関する指導 1回	給食時間を使った食に関する指導 2回 教科、学活等を使った食に関する指導 1回	給食時間を使った食に関する指導 15回 学校保健委員会 8回	教科、学活等を使った食に関する指導 3回 親子で学ぶ食の教室 1回	給食時間を使った食に関する指導 8回 教科、学活等を使った食に関する指導 20回
			2	給食センター	学校給食衛生管理基準に基づいた衛生管理の徹底		(通年) 「定期及び日常衛生検査」による点検と改善			
			3	給食センター	食物アレルギー対応の推進		(通年) 食物アレルギー対応食の提供 食物アレルギー対応の検討			
	8	地域力を育む社会教育の推進～現代的及びライフステージに応じた学習機会の充実～	1	生涯学習	・成人式実行委員募集				・成人式実行委員会（役員、テーマ決定）(8/22)	・成人式実行委員会（企画準備）(9/19)

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
			学用品費等支払い 特別支援教育就学奨励費支払い	新入学学用品費支払い(早期支給分)		就学援助については、予定どおり支給できた。新入学学用品費を2月末頃に支給した。特別支援教育就学奨励費についても計画的に支給した。新型コロナウイルス対策で臨時休校になったため急な変更手続きにも対応することができた。	B	B	*成果指標 A: MIM教材の活用とデータ利用 全小学校 B: MIM教材の活用とデータ利用 7校以上 C: MIM教材の活用とデータ利用 6校以下
				通学費補助金申請受付(年間分)	通学費支給決定・支払い(年間分) 通学費補助金申請受付(3月分)	高校生等を抱える世帯の経済的負担の軽減を図り、教育の機会均等を図ることで、子どもたちが通学費用を理由に希望する学びを諦めることがないよう支援することができた。	C		○適切に交付事務を執行することができた。
給食時間を使った食に関する指導 15回 教科、学活等を使った食に関する指導 28回 親子で学ぶ食の教室 3回	給食時間を使った食に関する指導 18回 教科、学活等を使った食に関する指導 28回 親子で学ぶ食の教室 4回 学校給食食材供給部会収穫体験(11/11)	給食時間を使った食に関する指導 7回 教科、学活等を使った食に関する指導 8回 学校保健委員会 1回	給食時間を使った食に関する指導 7回 教科、学活等を使った食に関する指導 22回 学校保健委員会 1回 献立作品の展示(1/22~2/2倉吉交流プラザ)	学校保健委員会 7回	給食時間を使った食に関する指導 1回 教科、学活等を使った食に関する指導 1回 学校保健委員会 2回	・望ましい食習慣の定着につながるよう、栄養教諭などによる全学級訪問指導を185回実施したが、前年度の2.1%から2.5%に残食率は増加した。 ・「親子で学ぶ食の教室」は、新型コロナ禍のため、5小学校計8回の実施だったが、保護者の参加率は約95%あり、食についての意識が変わったとの意見がアンケートでは多く寄せられた。	B	B	○給食主任や学級担任等と連携しながら、小中学校9年間を通じた計画的な指導を行うことにより、児童生徒の「食に対する理解と関心」を深めることができた。
						・学校給食衛生管理基準に基づく、調理業務の衛生管理等について、工程表等を確認しながら委託先の責任者と協議し、随時指導を行った。	B		○調理業務の衛生管理等を徹底することで、安全・安心な学校給食の提供につなげることができた。
						・児童生徒全員を対象とした食物アレルギー用献立表や、学校給食センターが個別に食物アレルギー対応している児童生徒用の献立表で情報提供を行った。	B	B	○学校教育課、学校現場、保護者と連携しながら食物アレルギー事故の防止を図ることができた
・成人式実行委員会(企画準備) (10/31)	・成人式実行委員会(企画準備・事前リハーサル) (11/29)	・成人式実行委員会(会場下見・打ち合わせ) (12/20)	・成人式(4/3) ・実行委員会OBボランティア(延期9/18) ・市長のお祝いの言葉、市議会議長の祝辞をYouTube配信(1カ月間)	・成人式実行委員会(反省会)	・成人式実行委員会(来年度に向けた協議) (3/15)	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン開催も視野に入れて検討を重ね準備を進めたが、開催延期を決定した。当日はお祝いの言葉を配信した。 ・14名の実行委員が主体となって成人式実行委員会企画の準備を進めた。リモート会議を行うことで、帰省が困難な実行委員にも参加してもらった。 ・実行委員会にとって身近なOB・OGに参加してもらい、体験談や助言を受けて、より充実した企画内容の検討や円滑な準備につながった。	C	C	○年度当初の開催という目標は延期のため達成できなかったが、リモート会議を活用したりオンライン開催用のデータを作成したりと工夫をしながら準備を進めた。また、OB・OGに会議に加わってもらい、実行委員としての経験が後輩の支援、また仲間作りに繋がるように努めた。今後は延期開催に向けて準備を進めていく。

令和2年度 倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施状況

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画												
				4月	5月	6月	7月	8月	9月							
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	8	地域力を育む社会教育の推進～現代的及びライフステージに応じた学習機会の充実～	2	各種講座開設 専門・実践的な高等教育を受ける機会確保(鳥取看護大学・短期大学・倉吉市連携講座、生涯学習講座、鳥取大学連携講座、人材銀行、女性連絡会)	生涯学習	・夏休み講座 検討会、社会教育事業検討会(4/22) ・人材銀行てびきの発刊 ・利用PR(市PTA連・自治連)	・看護・短大(第1回)6/26 ・看護・短大(第2回)7/10 ・看護・短大(第3回)7/23	・看護・短大(第4回)8/21 ・看護・短大(第1回)8/21 コロナのため中止 ・看護・短大(第1回)8/21 コロナのため中止	・看護・短大(第2回)9/4 コロナのため中止 ・看護・短大(第3回)9/18 コロナのため中止 ・生涯学習講座(第1回)9/12・80人(第2回)9/26・83人 ・女性連絡会代表者会(9/14)							
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	9	支えあう人づくり・輝くまちづくり～絆づくりや地域のコミュニティ形成に向けた学習活動の推進～	1	青少年の健全育成と青少年団体の育成支援(子ども会・ものづくり道場・伝統文化体験教室)	生涯学習	・ものづくり指導者派遣、手づくり教室の実施(年間) ・中部社会教育担当者会(第1回)4/7	・市子ども会連絡協議会総会 書面審議(6/1) ・中部地区少年少女のつどい(6/21) コロナのため中止 ・中部社会教育担当者会(第2・3回)6/11	・ものづくり指導者養成講座 ・夏休み子ども体験教室(7/28・29人、8/8・29人) ・中部社会教育担当者会(第3・5回)8/25								
										2	放課後子ども教室推進事業(総合プラン連携型、子どもいきいきプラン、通学合宿)	生涯学習	・関金放課後子ども教室(児童館連携型)開級 ・放課後子ども教室(1地区) ・各地区子どもいきいきプラン実施	・放課後子ども教室運営委員会 書面送付		
10	公民館活動の推進～学習の質向上と学習成果の活用～	1	学習の質向上と学習成果の活用(公民館と地域振興の連携)	生涯学習	・公民館職員研修会(4/24) ・公民館職員初任者研修会(4/15)	・公民館長会(5/12) ・公民館長会(6/2) ・公民館職員初任者研修会(6/9) ・公民館主事研修会担当者会(5/21)	公民館長会(6/2) ・公民館職員初任者研修会(6/9) ・公民館主事研修会(6/18)	・公民館長会(7/7) ・公民館主事研修会(7/16)	・公民館長会(8/4) ・公民館主事研修会(8/20)	・公民館長会(9/13) ・公民館主事研修会(9/17)						

取り組み計画				実績	実績評価	施策評価	最終評価	
10月	11月	12月	1月					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習講座(第3回) 10/11・72人(ミニ研修) 10/15・13人(第4回) 10/24・74人</li> <li>・女性連絡会(各中学校ごと研修会開催)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習講座(第5回) 11/7・69人(研修) 11/17・12人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性連絡会久米中校区活動(12/23・14人)</li> <li>・女性連絡会運営委員会(12/24・5人)</li> <li>・女性連絡会研修交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性連絡会東中校区活動(1/21・7人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育事業検討会</li> <li>・社会教育事業検討会(3/3)</li> <li>・女性連絡会西・鴨中校区活動(3/9)</li> <li>・女性連絡会河北中校区活動(3/18)</li> <li>・女性連絡会研修交流会(3/19)</li> </ul>	<p>【看大・鳥短公開講座】 大学側と協議を重ね、新型コロナウイルスの中、開催時期を遅らせ、規模縮小の上実施を検討したが、コロナ感染者増加・十分な感染予防措置ができないため中止と判断した。</p> <p>【生涯学習講座】 「用の美～民藝と倉吉～」と題し、新型コロナウイルス感染症予防策を講じた上で全5回講座・市外研修を実施した。32名の中講座受講者があり、学習者の学習要求を踏まえた学びの機会を提供することができた。</p> <p>【人材銀行】 新規登録者のHP掲載を行った。</p> <p>【女性連絡会】 コロナの影響もあり例年より活動の開始が遅くなったが、各中学校区の活動や全体での研修交流会において、感染症予防や防災等の現代的課題に関する学習等を行った。</p>	C	C	<p>○新型コロナウイルスのため中止の判断を行った講座がある中で、生涯学習講座は感染対策を講じて実施することができた。学習者のニーズを踏まえた講座を開催し、継続的な受講が見られたことから、学習者の学習効果を高めることができた。また、倉吉の民藝を学ぶことで、倉吉への愛着を深めるきっかけにするというねらいが達成できた。</p> <p>○看大・鳥短公開講座は、新型コロナウイルスのため中止としたため、当初の目的を達成することができなかった。来年度はコロナ禍の中で開催可能な方法を検討し、参加者の学習ニーズに沿った講座を開催する。</p> <p>○女性連絡会の活動において、地区公民館や関係機関と連携し、現代的課題に関する学習を提供し、目的である学習内容及び機会を充実させた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市子ども会リーダー研修会(10/4) コロナのため中止</li> <li>・ものづくり指導者養成講座(10/11、10/18、10/25)</li> <li>・中部社会教育担当者会(第4回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市子連「倉吉市子ども会育成テキスト」配布(11/30)</li> <li>・中部社会教育担当者会(第4回) 11/5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中部ハイスクールフォーラム(12/19)</li> <li>・中部社会教育担当者会(第5回) 12/9)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中部社会教育担当者会(第6回) 1/20)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市子ども会育成者研修会</li> <li>・市子ども会リーダー研修会(3/20) コロナのため延期</li> <li>・中部社会教育担当者会(第6回)</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室運営委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室運営委員会(11/9)</li> </ul>				<p>運営委員会を2回実施(内1回は新型コロナウイルスのため書面送付)。事業内容と進捗を確認した。各地区における放課後子ども教室については、市内で14教室、年間を通して実施した。コロナのため事業が十分実施できなかった地区もあったが、多くの地区が工夫をして事業を実施した。運営委員会では、各地区の取り組みについて情報共有を行った。</p>	B	B	<p>○異なる地域や学校の青少年が、ともに自然の中で体験活動を行うことで、仲間作りや自然の大切さを学んだ。</p> <p>○放課後子ども教室を通して、子どもの居場所づくりと、子どもと地域住民との交流を促すことができた。またコロナ禍の中、各地区で工夫をして事業を実施することができた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成推進指導員・青少年健全育成協力員中部ブロック合同研修会(10/27)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回運営委員会(11/26)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回倉吉市青少年育成協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家庭の日」絵画作品巡回展(1/15～1/20)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回評議委員会(2/16)</li> <li>・第6回運営委員会(書面決議)</li> </ul>	<p>【倉吉地区少年補導センター】倉吉地区少年補導センターの事業に関する協議や情報交換を行なう運営委員会を年6回、予算や事業計画について協議する評議委員会を年2回実施した。また、定期的な街頭補導に加え、様々な啓発に努めた。</p> <p>【倉吉市青少年育成協議会】研修会への参加に加え、県民会議と連携して啓発活動に取り組んだり、「家庭の日」の募集事業などを協力して実施した。</p>	B	B	<p>○補導対象事業や街頭補導を実施した。非行や犯罪被害の低年齢化が進む中、様々なキャンペーン活動等を通して啓発を行った。夏の研修会は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、研修予定だったテーマの資料の配布にかえて、コロナ禍であっても学びの機会を提供できた。青少年の健全育成のため鳥取県民会議と連携して啓発活動を行ったほか、研修会では倉吉の青少協活動を発表し、他市町と積極的な意見交換を行った。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館長会(10/6)</li> <li>・鳥取県社会教育振興大会(10/7)</li> <li>・全県社会教育関係者研修会(10/29)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館管理委員長会(11/11)</li> <li>・公民館長会(11/4)</li> <li>・公民館主事研修会(11/19)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館長会(1/5)</li> <li>・社会教育主事講習(1/21～2/18)</li> <li>・公民館主事研修会(1/21)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館長会(2/42)</li> <li>・公民館主事研修会(2/18)</li> <li>・公民館主事研修会(3/11)</li> </ul>	<p>・年度当初は、感染防止のため、研修会を中止または延期としたが、以降は感染対策を行い実施することができた。特に主事研修会では、公民館を含む地域のあり方についてのグループ討議を重ね、市の方針案に対し公民館主事としての意見をまとめた。</p>	B	B	<p>○今年度は、特に地域のあり方検討の中で公民館のあり方が問われ、研修の中でこの問題について職員同士話し合いながら、地域における公民館の果たすべき役割と機能について問い直し、再認識することができた。目的である公民館職員の資質向上につながる取り組みとなった。</p>

令和2年度 倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施状況

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画									
				4月	5月	6月	7月	8月	9月				
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	10 公民館活動の推進 ～学習の質向上と学習成果の活用～	2 人づくり・地域づくりの推進 (公民館研究指定事業)	生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館研究指定事業の委託、運営支援</li> <li>・情報発信(館報・HP紹介、マスコミ情報提供)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高城「地域づくり講座」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西郷「地域課題研究」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上北条「地域づくり講座」</li> <li>・明倫「地域課題研究」</li> <li>・灘手「成人講座」</li> <li>・関金「地域福祉講座」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成徳「タウンカレッジ」</li> <li>・上灘「地域づくり講座」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上井「地域課題研究」</li> <li>・社「地域づくり講座」</li> <li>・小鴨「地域づくり講座」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中・高生等青少年の公民館事業(祭り、運動会等)への参加推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関金：夏休みまなび教室(7/27・高校生ボランティア4名)</li> <li>・中学生ボランティア(地区夏祭り運営)</li> <li>・上灘：アナログゲームで遊ぼう(8/4・高校生ボランティア4名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生ボランティア(地区運動会運営)</li> </ul>	
				3 公民館のあり方検討	生涯学習	R3年度以降の公民館運営について決定する。	庁内関係課による協議(各制度の整理)	庁内関係課による協議(6/30)	庁内関係課による協議(7/20) 社会教育委員勉強会(7/27)	社会教育委員勉強会(8/6) 館長会説明会(8/4)	館長会説明会(9/9)		
				4 安全安心な施設整備	生涯学習	・修繕随時		・成徳公民館非常用照明新設工事(6/18完了) 明倫公民館北側外壁修繕工事(8/6～10/30)	・成徳公民館非常用照明新設工事				
					・小鴨公民館LANケーブル配線(6/19完了)	・灘手公民館和室空調機取替(7/16完了)			・地区公民館LANケーブル配線(11/4完了) ・地区公民館情報機器等整備(11/13完了)				
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	11 体育・スポーツの振興	1 スポーツ推進に関する重要事項の調査審議	生涯学習										



令和2年度 倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施状況

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	11 体育・スポーツの振興	2 スポーツ活動機会の充実(地域スポーツの振興)	生涯学習	桜相撲大会 (4/26)→ 9/6へ延期			市民体育大会 (水泳競技)			
			生涯学習	スポーツ教室 (スポーツ推進委員・地区公民館)	第1回スポーツ指導者研修会 (熱中症予防等)					
			生涯学習	海洋センター カヌー教室 (体育施設指定管理者ミズノ共催)						
			生涯学習	指定管理者による各種教室						
			生涯学習	児童生徒 全国大会 出場費補助金						
			生涯学習	桜相撲補助金 (中止)						
			生涯学習	日本海駅伝補助金						
			生涯学習	学校開放						
			生涯学習	体育施設 温水プール 海洋センター (4/6～ 9/30)						
			生涯学習	海洋センター 指定管理に向けた方針協議・決定						
生涯学習	倉吉市体育協会常任理事会 (4/16)→理事会(書面決議)	スポーツ団体の情報の公表・更新	市民体育大会実行委員会総会 (6/30)	市民体育大会 (水泳競技) 市民体育大会総務委員会 (7/9)→実行委員会	県民スポーツ選手派遣(水泳8/29～30)	中部駅伝選手派遣				
生涯学習	倉吉市スポーツ少団総会→延期									
生涯学習	倉吉市スポーツ推進委員協議会総会(書面決議)									
生涯学習	スポーツ推進委員協議会総会(書面決議)		第1回講習会	第1回役員会 (7/30)	第1回実技研修会	第2回役員会 (9/24)				
生涯学習	第1回役員会	県スポーツ推進委員協議会理事会・代議員会(書面決議)	県民のスポーツ編集委員会 (6/27)	SUN・IN 未来ウオーグ 協力	郡市合同実技研修会					
生涯学習		スポーツ教室運営開始								

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
市民体育大会(秋季) 10/3、10/4、10/11、10/12、10/18、10/25) 女子駅伝・日本海駅伝競走大会(10/11)			ニュースポーツ交流会	市体育協会スポーツ表彰・日本海新聞ふるさと大賞※式典を中止し体育功労賞のみ教育委員会事務局で伝達(2/20)		新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの大会が中止となった。市民体育大会は、感染状況が比較的落ち着いたことから、感染予防対策を講じたうえで13競技を実施したが、参加者は1/4程度減少した。	B		新型コロナウイルス感染拡大により令和2年度中の各種スポーツイベントは中止されたが、令和3年に入りスポーツ活動再開の動きが進み多くのスポーツイベントが計画されている。
	加藤伸一(野球教室(野球振興協議会主催))	第2回 谷川哲也(スポーツ教室(ケガ予防))	第3回スポーツ指導者研修会(競技力向上)	第4回スポーツ指導者研修会(未定)		指定管理者及び海洋センター教室は、コロナウイルス感染拡大により一時中止となった。しかし、屋内教室は感染対策を講じた上で規模縮小し再開。屋外教室は通常の人員で再開している。ただ、各種教室が目標とする大会等が中止となり、R2年度は教室のみの実施となった。	B		このため、令和3年度は大会及び研修等に十分なコロナ対策を実施するとともに、IT等を活用した事業も視野に計画する必要があると考えている。
									また、市内体育施設の大規模改修も概ね完了したこととない、令和3年度以降はソフト事業を充実させる必要がある。
						コロナウイルス感染拡大により櫻相撲、日本海駅伝は中止。ただ、全国大会はR3年2月以降は再開の動きがあり、3月10日現在で2件の申請があった。	B		これは、オリンピック及びワールドマスターズゲームズを契機にスポーツ科学等の研究が飛躍的にすすみ、児童から一般、高齢者まで様々な理論が提唱され、情報が氾濫し地方の指導者、実践者ともに情報過多の状況となっている。
									このことから、研修等において理論等を学習し、氾濫する情報を個々の指導者等が選択し実践できるきっかけとする必要があると考える。
									また、生涯スポーツの実践についても同様であるため、市として推進すべき生涯スポーツを定め確実に実行できる計画の推進が必要と考える。
									このため、令和3年度は第3期教育振興基本計画に基づいたソフト事業の充実を図る方向性を定め実行できる計画を検討する。
指定管理方針決定	募集要項の作成開始	募集要項公表開始(12/28)	要項質問受付募集説明会(1/12)応募受付(1/29まで)	候補者選定委員会及び答申(2/5)議案提出	議会による管理者決定協定書締結事務等引継	コロナウイルス感染拡大により上半期は施設の休館また再開指定も利用人数制限をかけるなど多くの制約を設けたが、下半期は通常利用可能として各施設は稼働した。しかし、県内の感染者が発生するたびに、利用者は減少したため、体育施設については減収に伴う補填を実施した。海洋センターについては、現体育施設指定管理者を候補者として3月議案に提案し、承認いただければ新年度から指定管理者へ移行する。	A		
市民体育大会(10/3、10/4、10/11、10/12、10/18、10/25) 女子駅伝・日本海駅伝協力(10/11) 県民スポレク選手派遣(秋季10/24～)	きたろうカップ駅伝選手派遣 米子～鳥取間駅伝選手派遣	スポーツ表彰候補者推薦	スポーツ表彰選考委員会	スポーツ表彰式	監査会	研修会やスポーツ表彰式典等の人を集める事業は中止とし、感染症予防対策ガイドラインに則り市民体育大会及び県民スポレク祭への選手派遣のみ行った。市民体育大会での感染予防対策の実績を他の事業でも活用し、スポーツ実践の機会の確保につなげていくことが必要。子どものスポーツ活動実弟調査の結果に基づき、指導者及び保護者の負担軽減を図るため、協会事業の精査を行い、令和3年度から、スポーツ少年団指導者資格取得にかかる費用の一部を補助する事業を計画した。	B		【再掲】 新型コロナウイルス感染拡大により令和2年度中の各種スポーツイベントは中止されたが、令和3年に入りスポーツ活動再開の動きが進み多くのスポーツイベントが計画されている。
	実技研修会(11/22) 全国スポーツ推進委員研究大会(栃本)(11/12～13) 鳥取県スポーツ推進委員研究大会(11/28)		ニュースポーツ交流会	第2回講習会 県民のスポーツ編集委員会(2/6)	決算監査(3/15) 第3回役員会(3/19)	新型コロナウイルスの影響もあり、市スポーツ推進委員協議会主催事業は実技研修会1回のみとした。3月末で任期満了を迎えるため、令和3年度からの推進委員委嘱に向け候補者の推薦依頼等を行った。	B		このため、令和3年度は大会及び研修等に十分なコロナ対策を実施するとともに、IT等を活用した事業も視野に計画する必要があると考えている。

令和2年度 倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施状況

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	11 体育・スポーツの振興	3 スポーツ指導者の養成・団体の育成	生涯学習	市スポ少本部総会	中部地区スポ少総会	中部スポ少交流野球大会開会式(6/19)			中部スポ少交流野球大会決勝トーナメント	
					中部地区スポ少交流大会(ミニバス5/9) (野球5/9～10)				中部地区スポ少交流大会(バドミントン9/20)	
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	11 体育・スポーツの振興	4 体育施設の整備充実	生涯学習	ラグビー場移設工事	工事入札仮契約	仮契約(6/9) 議会の議決本契約(6/22) 着工(6/23～3/25)	着工			
				テニスコート改修工事(1期、2期)		工事入札	着工	(1期)工事入札契約(8/4) 着工(8/5～12/18)		
				トイレ洋式化(第2期:ミズノ) ※H30年度から3カ年実施			工事完了			
				射撃場排水路補修工事		着工(6/18)		完了(9/30)		
				体育施設等修繕・器材整備(通年)						
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	12 文化財の保存、活用、伝承	1 伝建地区の災害復旧・保護(修理・修景事業)	文化財	現状変更部会(第1回) 5/29					伝建審議会(第1回) 9/9	
				令和元年度繰越【通常】2棟	文化庁中間報告		文化庁中間報告			
				令和元年度繰越【災害】5棟	文化庁中間報告		文化庁中間報告			
				令和2年度【通常】18棟	文化庁中間報告5棟追加		文化庁中間報告			
				令和2年度【災害】12棟	文化庁中間報告		文化庁中間報告			
				建築基準法緩和 条例改正手続き	改正					
	令和3年事業				令和3年国費計画					
	12 文化財の保存、活用、伝承	2 指定文化財の整備・保護	文化財		文化財保護審議会(第1回)					
				[史跡維持管理]						
				[大御堂廃寺整備基本計画策定]				第1回委員会(書面審議) 8/11～8/27	整備アイデア募集9/12～10/6	第2回委員会 10/28
[指定文化財候補の調査] 大御堂廃寺跡出土遺物調査報告書作成										
			[小川氏庭園保存処理]							

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	中部地区スポーツ交流大会(バレー11/8)	県スポーツリーダー研修会	市スポーツキッズバレーボールリーグ交流大会			市スポーツ監査 県スポーツリーダー研修会	B	B	
		備品購入入札・契約(12/21)	備品購入納入(1/28)			看板設置業務入札・契約(3/10) 看板設置完了(3/31)			また、市内体育施設の大規模改修も概ね完了したことにとともに、令和3年度以降はソフト事業を充実させる必要がある。 これは、オリンピック及びワールドマスターズゲームズを契機にスポーツ科学等の研究が飛躍的にすすみ、児童から一般、高齢者まで様々な理論が提唱され、情報が氾濫し地方の指導者、実践者ともに情報過多の状況となっている。 このことから、研修等において理論等を学習し、氾濫する情報を個々の指導者等が選択し実践できるきっかけとする必要があると考える。 また、生涯スポーツの実践についても同様であるため、市として推進すべき生涯スポーツを定め確実に実行できる計画の推進が必要と考える。 このため、令和3年度は第3期教育振興基本計画に基づいたソフト事業の充実を図る方向性を定め実行できる計画を検討する
		(1期)第1回変更。工期を2/1まで延長(12/4)	(1期)第2回変更。工期を3/29まで延長(1/14)	(2期)国の繰越決定。		(1期)工事完了検査・供用開始 7月末まで工期延長	A	A	
		(2期)工事入札・着工	(2期)国への繰越承認申請			指定管理の予算から実施。この工事により合宿棟全階に洋式トイレが設置された。 工事は予定どおり完了し排水路の保全ができた。			
						突発的な修繕については指定管理者と協力し実施。			
	文化庁中間報告	伝建審議会(第2回)12/24	文化庁中間報告	現状変更部会(第2回)2/24 修理報告会2/28	伝建審議会(第3回)3/23	1棟工事完了	B	B	・被災から4年半が経過し修理可能な建物は、ほぼ修理が完了したが、空き家、敷地内に複数存在する被災建物、後継者がいないなど、事業着手が困難な建物が残っていく懸念がある。今後も、個別の修理相談など、地区住民及び施工業者への伝建制度の周知を継続し、課題解決につなげていく。 伝建保存活用計画は、町並み保存会をはじめ、住民の意見を広く伺い検討する。 ・修理報告会では、修理・修景の必要性を地区住民へ広く周知ができ、修理に携わる設計士、施工業者に対して伝建修理の理解が得られた。
	文化庁中間報告		文化庁中間報告			5棟工事完了			
	文化庁中間報告		文化庁中間報告			20棟工事完了			
	文化庁中間報告		文化庁中間報告			12棟工事完了			
		令和3年度事業説明会12/22,23		令和3年度国費申請					
河北中学校2年生10/14総合的学習								B	
第2回委員会10/28	文化財保護審議会(第2回)		パブコメ12/22	第5回委員会1/21			B	B	・大御堂廃寺跡整備検討委員会(計3回)、遺構検証部会、リス舎周辺整備事業に関連した整備アイデア募集、パブコメを行い専門分野及び市民の意見を検討し、計画を策定した。また、県立美術館をはじめとする関係団体と協議を行い調整を図った。 ・小川氏庭園は、待合、南山荘、垣等の修理、設備工事、庭木の剪定等を指導した。
		遺構検証部会12/3		県指定文化財に答申される					・大御堂廃寺跡と県立美術館との活用の相乗効果を図りながら、史跡の価値を学び次世代に継承できる、整備基本計画を策定できた。次年度においても、各関係団体と調整を行いながら、また発掘調査等を行い、整備に向けた様々な情報を確実なものとし設計につなげていく。 ・指定文化財については順次修理等を行い、貴重な文化財の継承に努めることができている。

令和2年度 倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施状況

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	12 文化財の保存、活用、伝承	2 指定文化財の整備・保護	文化財	[桑田家住宅修理]					
				[高田家住宅修理]					
				[大日寺仏像修理]				追加 [長谷寺本堂修理]	
		文化財協会総会・研究発表会6/14	文化財協会「講演会」7/12	夏休み子ども体験教室7/28 8/8	文化財協会「倉吉学講座」9/27				
	3 埋蔵文化財の発掘調査	文化財	両長谷遺跡第2次（産業廃棄物処分場） 遺物整理作業						
中尾遺跡第3次（大谷工業団地） 発掘調査・遺物整理作業									
鉄器出土（鉄矛、板状鉄斧、鑄造鉄斧）									
不入岡遺跡群（老本榎地区）発掘調査									
			市内遺跡 発掘（試掘）調査・遺物整理作業						
			桜地区		下福田地区				
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	13 親しみ学ぶ機会の提供できる博物館	1 資料の収集・保存管理・公開	博物館	・特別展「平山郁夫展」					
				・美術収蔵品展 ・考古収蔵品展 ・歴史民俗資料収蔵品展					
			・館外展示（淀屋・土天神）						
							・館外展示（円形劇場フィギュアミュージアム・土天神）		
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	13 親しみ学ぶ機会の提供できる博物館	2 郷土の歴史遺産や文化芸術、伝統文化を学べる場の提供	博物館					・博物館講座	
								・自然科学企画展	
		3 博物館施設の改修（ガス系消火設備改修）	博物館	・文化庁、県他、関係機関と調整協議	・事前調査、設計				・入札、契約 ・所轄消防署への届出 ・消火設備改修準備（ポンベ製作・ガス充填）

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・桑田家住宅主屋の修理は、内壁や軒天、東西の塀等、文化財調査を行いながら適切に指導した。</li> <li>・高田酒造(仕込蔵)は、柱の落ち込みや屋根や床の傾きなど危険な状態であったため、応急処置を施し、土台や壁などの修理調査を指導した。</li> <li>・長谷寺本堂修理が追加となったが、すみやかに補助金手続を行い、修理を指導した。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倉吉文化財協会等と連携し、文化財が身近な存在となるよう、啓発活動を継続的に行うことができています。</li> <li>・倉吉文化財さんぽを市報に連載して、より多くの市民に市内の文化財を知っていただけるようになった。</li> </ul>
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・大日寺の木造菩薩形立像は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、修理作業完了が令和3年度に繰り越しになった。</li> <li>・倉吉文化財協会と連携した講座等は、ほぼ計画どおりに実施した。</li> </ul>			
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・両長谷遺跡発掘調査報告書作成に向けて、図面整理等内務整理作業を行った。</li> <li>・中尾遺跡第3次発掘調査は、鉄器(矛、斧)が出土。鉄器の出土を広く周知するため、記者発表、現地説明会ならびに特別展示会を開催。また小中学生にチラシを配布した。</li> <li>・不入岡遺跡群(老木複地区)発掘調査を実施。報告書を刊行した。</li> <li>・桜地区の延長、上井地区の追加に対応した。</li> </ul>	A		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中尾遺跡第3次発掘調査で出土した弥生時代の鉄器(矛、斧)のうち、矛は国内最長であることが分かった。また、焼失した建物から鉄器が完全な形で出土した例は国内では見られない珍しい事例であることが分かった。</li> <li>・博物館での特別展示、また、現地での説明会により、中尾遺跡の歴史的価値を広く知っていただくことができた。</li> <li>・発掘調査においては、開発側とスケジュール等調整を行い、実施することができた。</li> </ul>
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県ジュニア美術展覧会</li> <li>・鳥取県文化功労賞巡回展</li> <li>・美術収蔵品展</li> <li>・考古収蔵品展</li> <li>・歴史民俗資料収蔵品展</li> </ul>	C		<ul style="list-style-type: none"> <li>・倉吉市創作文華展</li> </ul>
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「平山郁夫展」は中断、「倉吉市美術展覧会」は中止、「第10回菅橋彦大賞展」は1年延期とした。</li> <li>・収蔵資料を元に時機を捉えてテーマ性をもち常設展示を行った。美術分野は6回(計画5回)、考古分野は3回(計画2回)、民俗分野は5回(計画4回)の展示替えを行った。</li> <li>・収蔵作品をじっくり鑑賞するとともに収蔵資料から学ぶ機会ともなったと市民から好評であった。</li> <li>・中尾遺跡第3次調査出土鉄器や、新たに県指定保護文化財となった大御堂廃寺跡出土遺物など、時宜を得た展示を行った。</li> <li>・館外展示は、土天神の展示を倉吉淀屋、並びに円形劇場フィギュアミュージアム(貸出)で実施した。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○結果としては、年間利用者数は約14千人(令和元年度:約25千人)と大幅な減となった。</li> <li>○新型コロナウイルス感染症の影響により中止、あるいは1年延期をした事業もあったが、それらの補完として倉吉博物館ならではの企画展や常設展を展開し、あるいは周辺施設と連携した企画展を展開するなど工夫した。</li> <li>倉吉の芸術文化、歴史文化を改めて認識し地域文化に誇りと愛着をもっていただく機会となった。</li> <li>○倉吉博物館講座、並びに自然ウォッチングは、新型コロナウイルス感染症の影響により例年より開催数が減ったものの、時機を捉えたテーマを設定した講座や観察会を実施することができた。</li> <li>○大坂氏を取り上げた特別講座は、大坂氏の地元の上北条公民館と共催し、同公民館を会場に実施。実際に作品を会場に持参して間近に見ていただき、当日は後輩の河北中学校生徒の参加もあるなど地域の偉人にふれる機会を提供することができた。</li> <li>○恒例の「夏休み自然科学展」は中止としたが、臨機対応で「打吹山ウォッチングガイド」発行を記念して打吹山の動植物に特化した企画展に切り換えて開催し、補完することができた。</li> <li>○ガス系消火設備改修工事の実施に当たっては、国の有利な補助制度を活用し、懸案であった設備を改修することができた。事前調査及び設計の見直しにより時間を要し、入札時期が遅れたものの、工事経費は大幅に削減でき、老朽化による不作為や、誤作動による人命への危険性を解消することができた。</li> </ul>
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・倉吉博物館講座は計画6回に対し7回(うち1回は鳥取県史連携講座を鳥取県立公文書館と共催)開催したほか、特別講座(人間国宝 大坂弘道氏)を1回開催した。(例年は10回)</li> <li>・自然ウォッチングは、計画した4回に加えて2回多く開催を予定していたが、うち1回は参加者が集まらず中止、もう1回は大雪と鳥取県版新型コロナ警報により中止したため結果として4回の開催となった。(例年は11回)</li> <li>・自然科学系企画展は「生きものの視点で打吹山をガイド」を開催した。</li> </ul>	B	B	
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事は、予定通りに施工できた。</li> <li>・鳥取中部ふるさと広域連合消防局による消防用設備の設置検査を受け、無事に完了できた。</li> <li>・文化庁による現地検査は、新型コロナウイルス感染症の影響により東京都が緊急事態宣言下であったことから、オンラインでの検査を受けた。</li> </ul>	A		

改修工事のため臨時休館

令和2年度 倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施状況

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					
				4月	5月	6月	7月	8月	9月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	14 豊かな心を育む図書館づくりの推進	1 図書館資料の収集提供、農業支援・中高校生等の利用促進	図書館	自閉症啓発展示（世界自閉症啓発デー） 農業支援・中高校生向け資料収集計画の立案	子どもの読書週間PR 農業支援・中高校生向け資料収集計画の立案	絵本作家赤羽末吉生誕110年 農業支援・中高校生向け資料の購入	おうち時間を使って理想のお部屋へ 農業支援・中高校生向け資料の購入	夏を楽しむ 農業支援・中高校生向け資料の購入	芸術の秋 農業支援・中高校生向け資料の購入
		2 読書活動の推進	図書館		ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 14人 1歳6ヶ月 0人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 21人 1歳6ヶ月 21人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 54人 1歳6ヶ月 66人 おてんき広場（中止）	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 29人 1歳6ヶ月 47人 夏休み工作室	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 23人 1歳6ヶ月 18人 読み聞かせ教室
		3 山上憶良短歌募集・文芸活動の推進	図書館		山上憶良短歌賞実行委員会実施要項決定・広報開始→中止（書面協議） 第1回倉吉文芸編集委員会実施要項決定・広報開始→中止（書面協議）	全国結社などに広報協力依頼 倉吉文芸広報	山上憶良を学ぶ授業 山上憶良短歌賞作品受付 倉吉文芸作品受付	山上憶良短歌賞作品受付 倉吉文芸作品受付	県歌人会による小学生作歌指導 山上憶良を学ぶ授業 山上憶良短歌賞作品受付 倉吉文芸作品受付

取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価
10月	11月	12月	1月	2月	3月				
芸術の秋・地元ゆかりの作家紹介 農業支援・中高校生向け資料の購入利用状況確認	第74回読書週間読書活動推進啓発（県図連携） 農業支援・中高校生向け資料の購入利用状況確認	鳥取の郷土料理・レシピの紹介 農業支援・中高校生向け資料の購入利用状況確認	お正月気分を味わおう。郷土の民俗行事 追加資料購入利用状況確認	かわいい猫の日 追加資料購入利用状況確認	真庭の見どころ・味どころ（商工会議所連携） 追加資料購入利用状況確認	おおむね予定どおり実施できた。入館者は減少したものの貸出冊数の鈍化は大きくなかった。	B		・タイムリーな内容の展示を県市と連携し実施した。読書意欲を高める効果は高く、来年度も継続して行いたい。 ・農業支援資料のニーズは高い。最近栽培方法のみならず、商品開発・営業などビジネスとして捉えるニーズが高まっているので経営に関する本も十分に揃えていきたい。中高校生向け資料も継続して購入したい。
ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 30人 1歳6ヶ月 21人 絵本作家子育て講演会	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 21人 1歳6ヶ月 27人 学校図書館連携スタンプラリー ぬいぐるみのおとまりかい	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 23人 1歳6ヶ月 30人 小道具作成講座 読み聞かせ教室	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 33人 1歳6ヶ月 30人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 20人 1歳6ヶ月 26人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 25人 1歳6ヶ月	ブックスタートは絵本配布は行なったものの、時間短縮のため読み聞かせ指導ができなくなった。代替事業として読み聞かせ教室を新設したが来館が難しいのかあまり利用がない。啓発イベントはコロナ対策を行ないながらできるものは実施した。	B	B	・読み聞かせ指導が不十分のため、映像配信など別の学習方法を開発したい。中止した絵本作家講演会などはリモート開催など、別のかたちで事業を実施したい。 ・山上憶良短歌募集事業は周知・応募期間の前倒し、長期化とPR努力により、応募数は完全に回復した。今後も積極的にPRしさらに事業を発展させたい。
県歌人会による小学生作歌指導 山上憶良を学ぶ授業 山上憶良短歌賞作品受付 倉吉文芸作品取りまとめ	県歌人会による小学生作歌指導 大人のための短歌教室 山上憶良短歌賞作品受付 第2回倉吉文芸編集委員会 応募作品審査 第3回倉吉文芸編集委員会	応募作品取りまとめ 山上憶良短歌賞審査方法検討会 倉吉文芸編集開始	山上憶良短歌賞第1次審査	山上憶良短歌賞最終審査 山上憶良短歌賞受賞作品集編集開始 第2回山上憶良短歌賞実行委員会→中止（書面報告） 倉吉文芸表彰式→中止 倉吉文芸発行	山上憶良短歌賞表彰式→中止 受賞作品集発行	山上憶良短歌賞はコロナ禍にもかかわらず応募数が5,594首と昨年度を1,000首以上、上回る好成績だった。全47都道府県から応募があり、倉吉と山上憶良の結びつき活躍を広く喧伝することができた。審査も効率化し一層スムーズで事務も滞ることもなく進めることができた。倉吉文芸も円滑に事務を行なった。	A		